

県内の景気動向

概況（2020年10月）

景気は、下げ止まりの動きがみられる

観光関連では、入域観光客数は前年を下回る

消費関連では、百貨店売上高は前年を下回る

10月の県内景気をみると、消費関連では、百貨店は新型コロナウイルスの影響などで前年を下回り、スーパーは前年の消費税率引き上げ後の反動増などにより、食料品、衣料品、住居関連ともに回復したことから前年を上回った。耐久消費財では、新車販売は前年の消費税率引上げ後の反動増などにより前年を上回り、電気製品卸売は前年の納品ズレによる反動減の影響や消費マインドの低下などで前年を下回った。

建設関連では、公共工事は国、市町村、独立行政法人等・その他は減少したが、県は増加したことから前年を上回った。建築着工床面積は居住用、非居住用ともに減少したことから前年を下回った。新設住宅着工戸数は持家、貸家、分譲、給与の全ての項目で減少したことから前年を下回った。建設受注額は公共工事、民間工事ともに増加したことから前年を上回った。

観光関連では、入域観光客数は前年を大幅に下回った。国内客、外国客ともに前年を下回った。主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊収入ともに前年を下回った。

総じてみると、消費関連は消費税率引き上げの影響や新型コロナウイルスの影響で弱含んでいること、建設関連は民間工事に一服感がみられ弱含んでいること、観光関連は新型コロナウイルスの影響で悪化しているものの下げ止まりの動きがみられることから、県内景気は下げ止まりの動きがみられる（5カ月連続）。

消費関連

百貨店売上高は、新型コロナウイルスの影響などで、17カ月連続で前年を下回った。スーパー売上高は、前年10月が消費税率引き上げの影響で落ち込んだことから、食料品は反動増となり、既存店ベースは3カ月ぶりに前年を上回った。全店ベースは2カ月ぶりに前年を上回った。新車販売台数は、新型コロナウイルスの影響でレンタカーが減少するも、前年の消費税率引上げに伴う反動によりすべての車種が増加し、13カ月ぶりに前年を上回った。電気製品卸売販売額は、前年の納品ズレによる反動減の影響や消費マインドの低下などで、白物家電や電子レンジなどが減少したことから、3カ月連続で前年を下回った。

先行きは、一部で持ち直しの動きがみられるも、新型コロナウイルスの影響などにより食料品や耐久消費財は引き続き弱含むとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、国、市町村、独立行政法人等・その他は減少したが、県は増加したことから、3カ月連続で前年を上回った。建築着工床面積（9月）は、居住用、非居住用ともに減少したことから3カ月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数（9月）は、持家、貸家、分譲、給与の全ての項目で減少したことから4カ月連続で前年を下回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事、民間工事ともに増加したことから3カ月ぶりに前年を上回った。建設資材関連では、セメントは4カ月連続で前年を下回り、生コンは4カ月連続で前年を下回った。鋼材は前年の消費税率引き上げによる駆込み需要の反動がひと段落したことや単価の上昇がみられることなどから前年を上回り、木材は住宅関連工事向けの出荷減などから前年を下回った。

先行きは、手持ち工事額は引き続き高水準であるものの、民間工事に一服感がみられることから弱含むとみられる。

観光関連

入域観光客数は、10カ月連続で前年を下回った。国内客は約5割減少し、外国客は全減となった。県内主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊収入ともに前年を下回った。主要観光施設入場者数は大

幅な減少となった。ゴルフ場は、入場者数は前年を上回り、売上高は前年を下回った。

先行きは、全世界に感染拡大している新型コロナウイルスの収束時期が不透明なため、外国客が動き出すのは年明け以降となろう。一方、国内に目を向けると東京都発着のGoToトラベルが10月にスタートするなど明るい材料もあるが、全国的に新型コロナウイルスの影響で安近短旅行が主流となっていることや修学旅行などのキャンセルが発生していることもあり、国内客は当面は前年を大幅に下回る推移が続くとみられる。

雇用関連

新規求人数（9月）は、前年同月比32.5%減となり10カ月連続で前年を下回った。宿泊業・飲食サービス業、卸売業・小売業などで減少した。有効求人倍率（季調値、9月）は0.64倍と、前月より0.03ポイント低下した。完全失業率（季調値、9月）は3.5%と、前月と同水準だった。

その他

消費者物価指数は、光熱・水道、交通・通信などの下落により、前年同月比0.4%減と8カ月連続で前年を下回った。

企業倒産は、件数が6件で前年同月を3件上回った。負債総額は3億6,000万円で、前年同月比318.6%増となった。

りゅうぎん調査（2020年10月）

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2020.8-2020.10)
1. 消費関連		
(1) 百貨店(金額)	▲ 23.0	▲ 37.3
(2) スーパー(既存店)(金額)	1.5	▲ 2.1
(3) スーパー(全店)(金額)	3.6	▲ 0.1
(4) 新車販売(台数)	23.1	▲ 3.9
(5) 電気製品卸売(金額)	▲ 2.7	▲ 10.9
2. 建設関連		
(1) 公共工事請負金額(金額)	0.7	0.6
(2) 建築着工床面積(m ²)	(9月) ▲ 49.2	(7-9月) ▲ 40.8
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(9月) ▲ 63.4	(7-9月) ▲ 47.5
(4) 建設受注額(金額)	P196.8	P29.9
(5) セメント(トン数)	▲ 13.7	▲ 11.7
(6) 生コン(m ³)	▲ 10.9	▲ 12.1
(7) 鋼材(金額)	P1.7	P▲12.4
(8) 木材(金額)	▲ 0.6	▲ 13.1
3. 観光関連		
(1) 入域観光客数(人数)	▲ 59.9	▲ 71.2
うち外国客数(人数)	▲ 100.0	▲ 100.0
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) P▲33.6 (実数) P39.8	(前年同期差) P▲46.6 (実数) P28.0
(3) " 売上高(金額)	P▲45.6	P▲65.4
(4) 観光施設入場者数(人数)	P▲71.3	P▲82.3
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	5.7	▲ 1.9
(6) " 売上高(金額)	▲ 11.4	▲ 14.4
4. その他		
(1) 県内新規求人数(人数)	(9月) ▲ 32.5	(7-9月) ▲ 35.4
(2) 有効求人倍率(季調値)	(実数、9月) 0.64	(実数、7-9月) 0.66
(3) 消費者物価指数(総合)	▲ 0.4	▲ 0.5
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 3	(前年同期差) 1
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(9月) ▲ 13.8	(7-9月) ▲ 20.0

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 百貨店は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

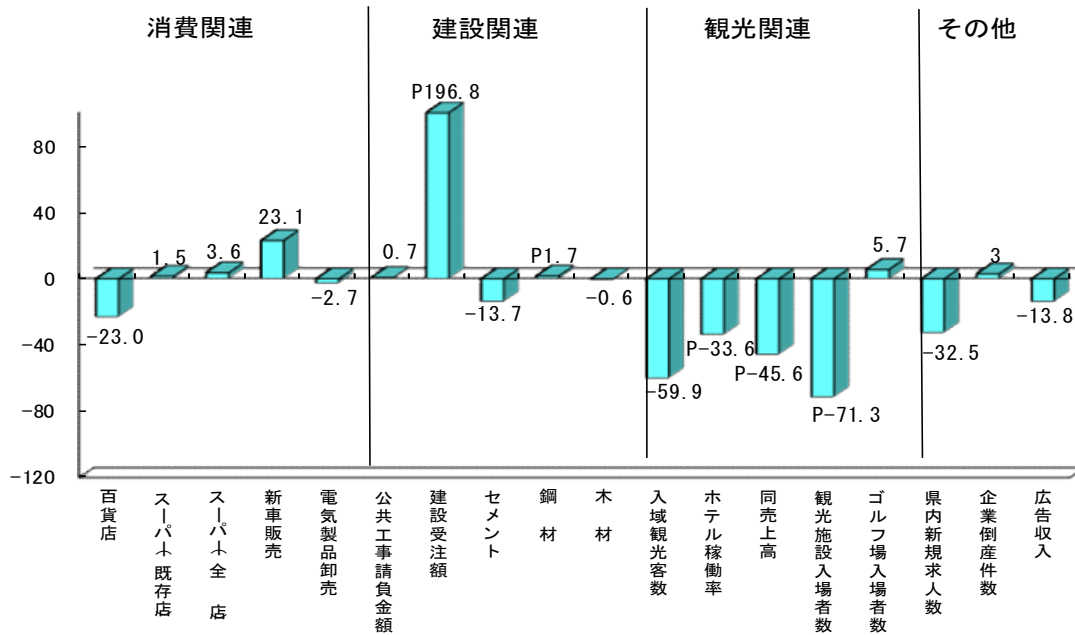
(注3) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

(注4) 主要ホテルは、2019年8月より調査先を25ホテルから28ホテルとした。

(注5) 2016年7月より企業倒産件数の前年同期差は、3カ月の累計件数の差とする。

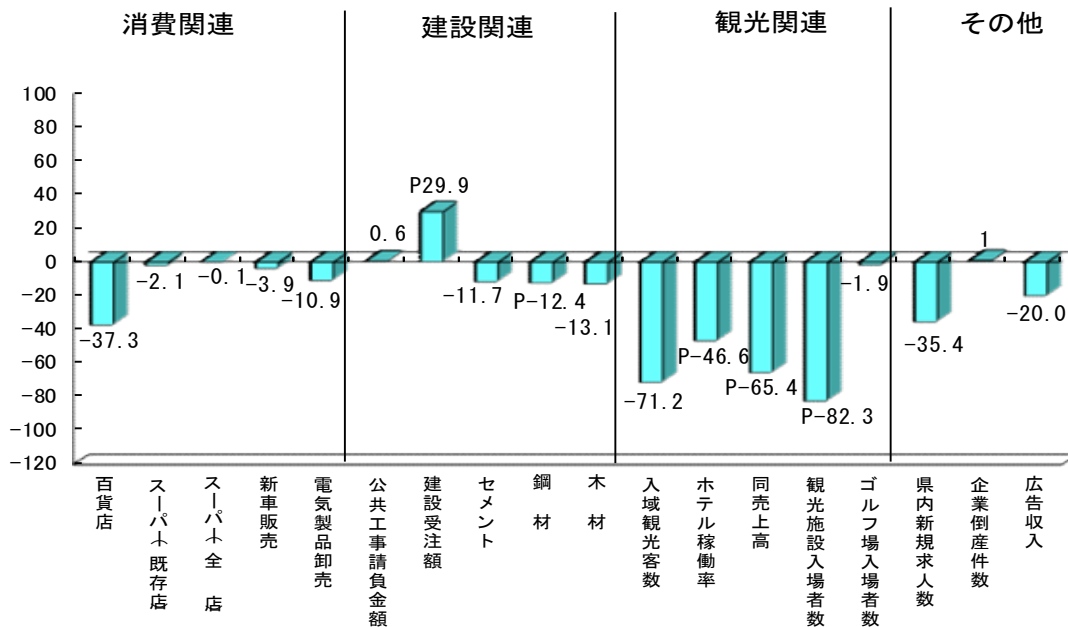
(注6) 建設受注額は、2018年2月より調査先を19社から18社とした。

項目別グラフ(単月、2020年10月)



(注) 広告収入は20年9月分。数値は前年比 (%)。Pは速報値。
ホテル稼働率 (%ポイント)、企業倒産件数 (件) は前年差。Pは速報値。

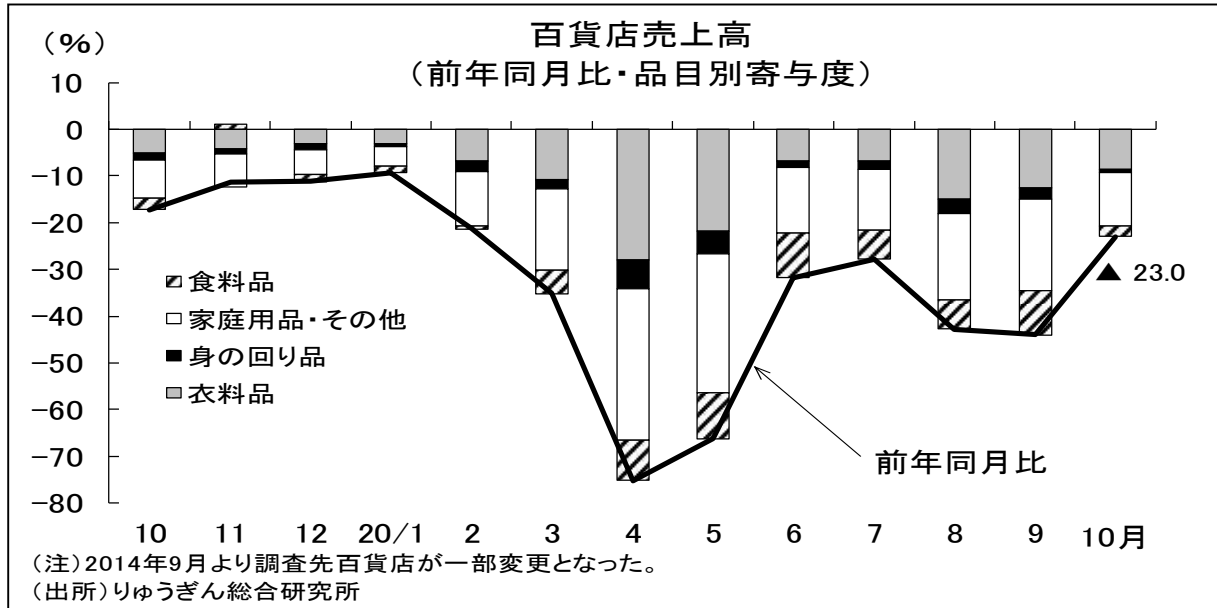
項目別グラフ(3カ月、2020年8月～2020年10月)



(注) 広告収入は20年7月～20年9月分。数値は前年比 (%)。
ホテル稼働率 (%ポイント) は前年差。企業倒産件数 (件) は3カ月の累計件数の前年差。Pは速報値。

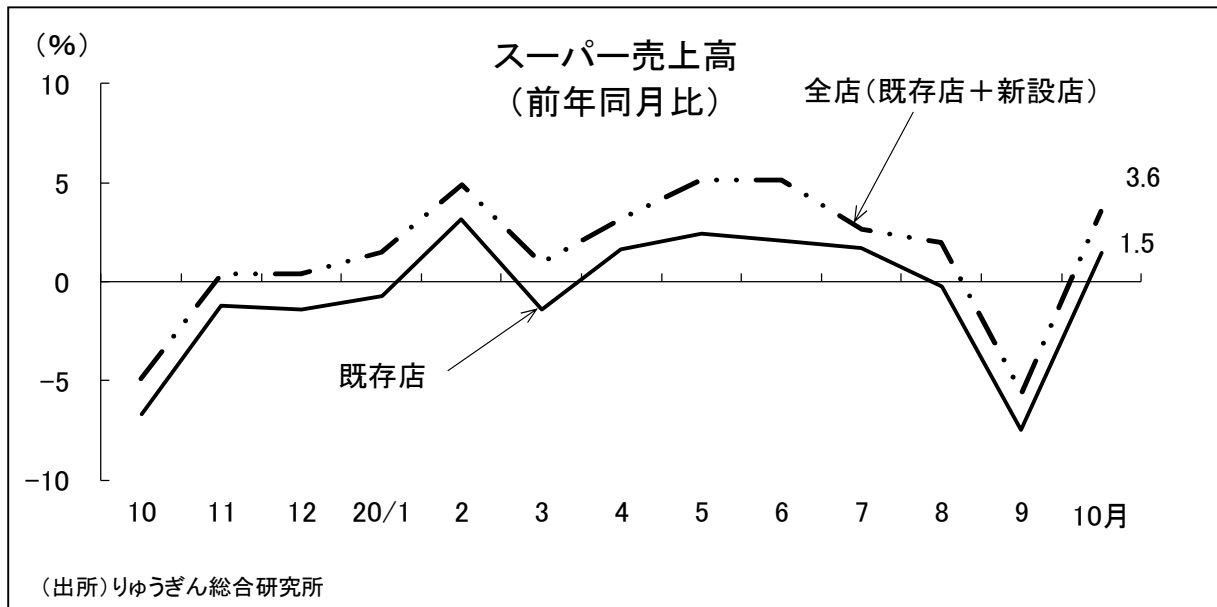
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：17カ月連続で減少



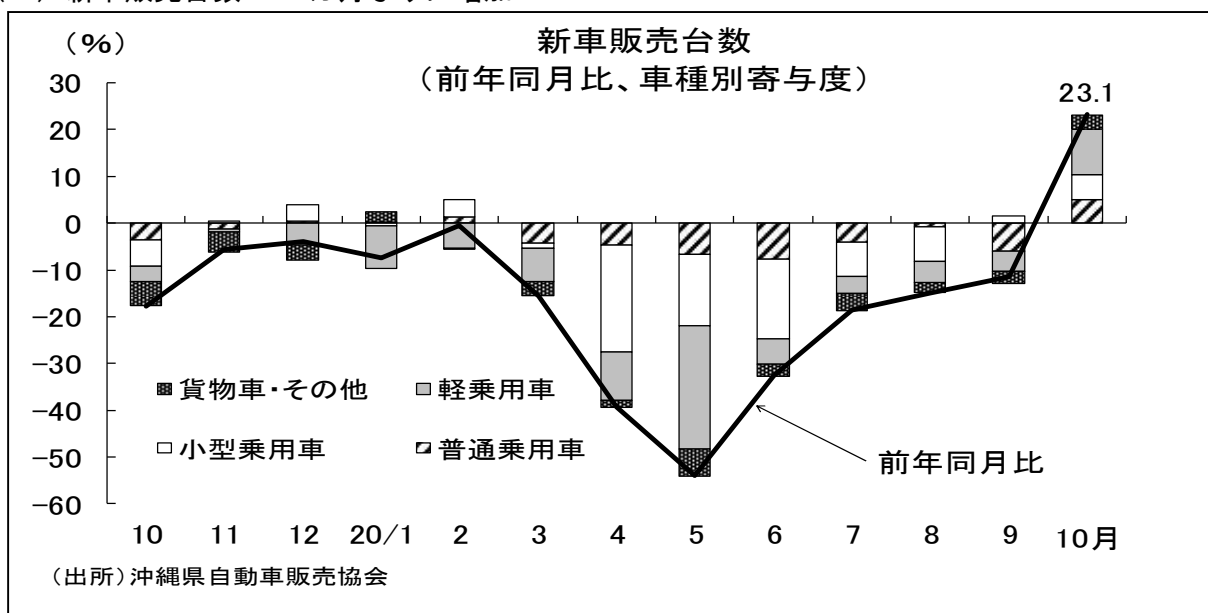
- 百貨店売上高は、前年同月比 23.0%減と 17 カ月連続で前年を下回った。前年の消費税率引き上げに伴う反動などで身の回り品などが増加したことから、新型コロナウイルスの影響が大きく出た4月以降では、売上高の減少幅はもっとも小さくなった。一方、一部テナントの改装や催事による集客を図るも、新型コロナウイルスの影響により依然として厳しい状況が続いている。
- 品目別にみると、家庭用品・その他 (同 29.2%減)、衣料品 (同 26.6%減)、食料品 (同 10.8%減)、身の回り品 (同 9.9%減) が減少した。

(2) スーパー売上高：全店ベースは2カ月ぶりに増加



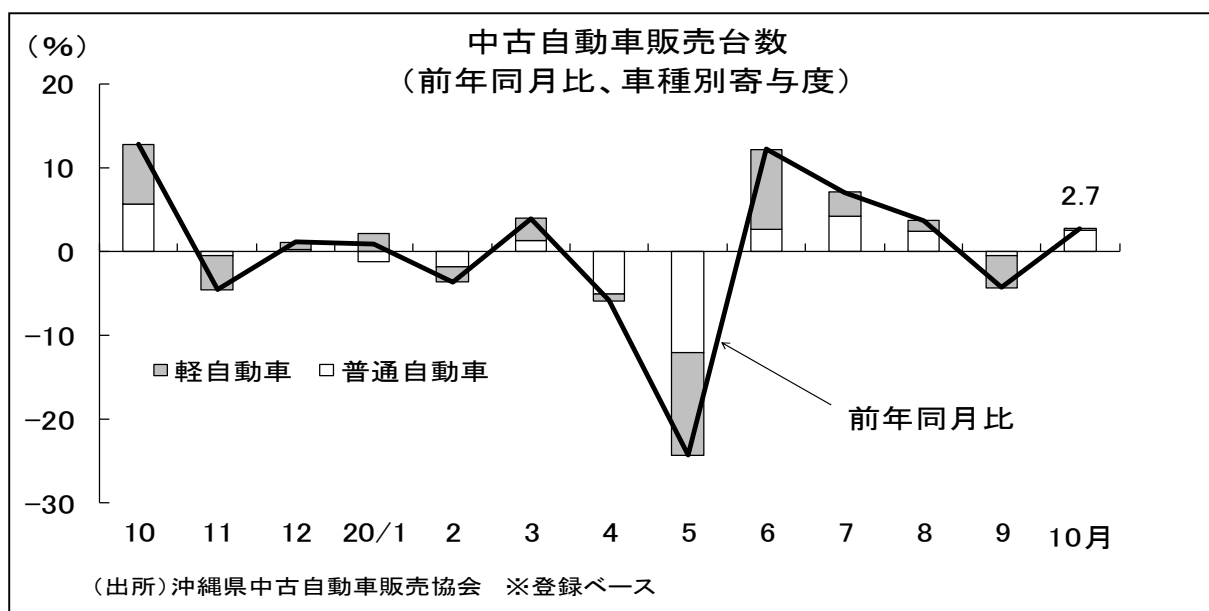
- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年の消費税率引き上げに伴う反動などにより、前年同月比 1.5%増と 3カ月ぶりに前年を上回った。
- 一方、新型コロナウイルス感染再拡大による消費マインド低下などにより、衣料品は同 5.8%減、住居関連は同 0.4%減となった。食料品は、巣ごもり需要の継続などで同 2.4%増となった。
- 全店ベースでは、同 3.6%増と 2カ月ぶりに前年を上回った。

(3) 新車販売台数：13カ月ぶりに増加



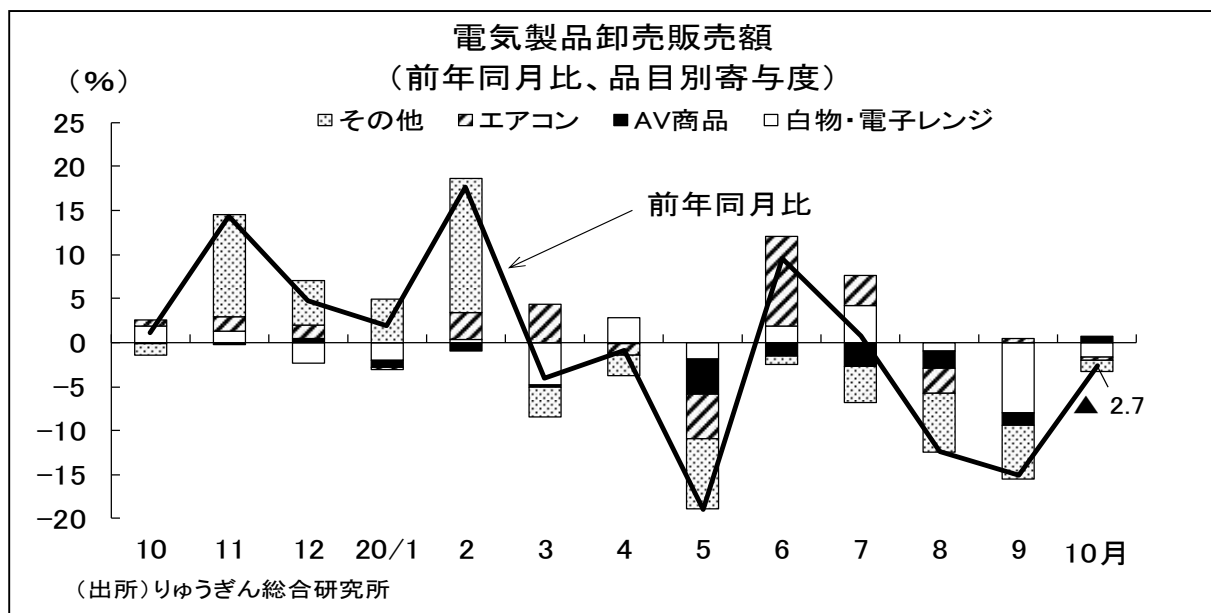
- ・新車販売台数は3,624台となり、前年同月比23.1%増と13カ月ぶりに前年を上回った。新型コロナウイルスの影響でレンタカーは減少するも、前年の消費税率引上げに伴う反動などで、すべての車種で増加した。
- ・普通自動車（登録車）は1,410台（同29.8%増）で、うち普通乗用車は557台（同36.5%増）、小型乗用車は671台（同30.3%増）であった。軽自動車（届出車）は2,214台（同19.2%増）で、うち軽乗用車は1,822台（同18.7%増）であった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：2カ月ぶりに増加



- ・中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は2万643台で前年同月比2.7%増と、2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・内訳では、普通自動車は8,302台（同6.6%増）、軽自動車は12,341台（同0.2%増）となった。

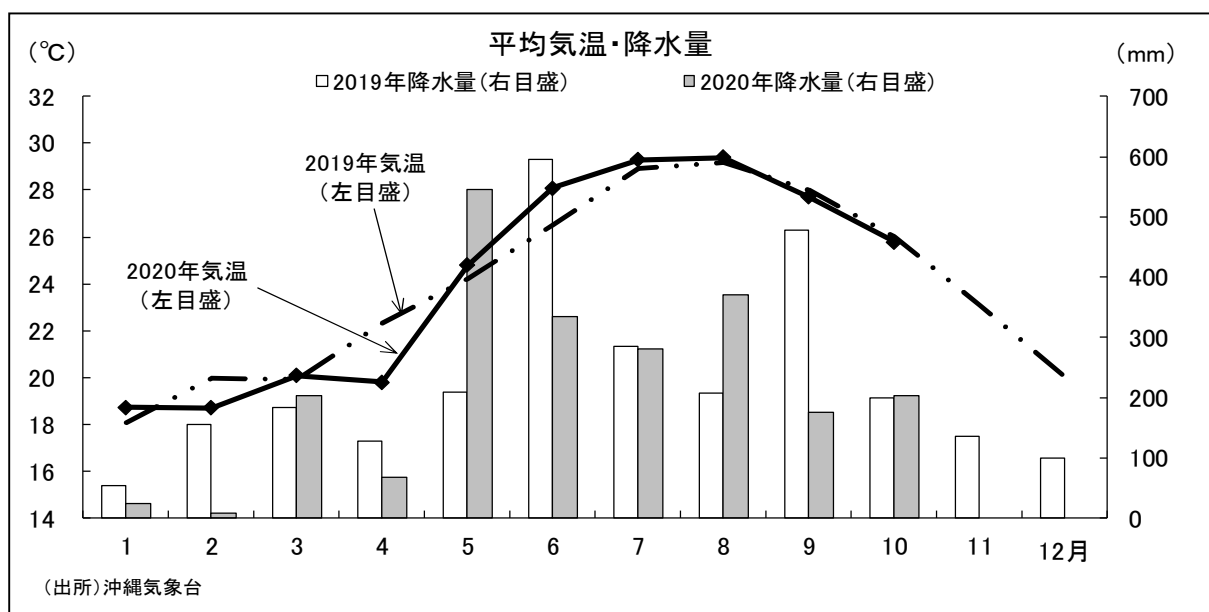
(5) 電気製品卸売販売額：3カ月連続で減少



- ・電気製品卸売販売額は、前年の消費税率引き上げ前の駆け込み需要で購入された製品の一部分が前年10月の納品となったことによる反動減や、新型コロナウイルス感染再拡大による消費マインド低下などの影響で、前年同月比2.7%減と3カ月連続で前年を下回った。
- ・品目別にみると、AV商品ではBDレコーダーが同10.1%減、テレビが同8.5%増、白物では冷蔵庫が同8.9%減、洗濯機が同0.6%減、エアコンが同5.2%減、その他は同2.7%減となった。

(参考)

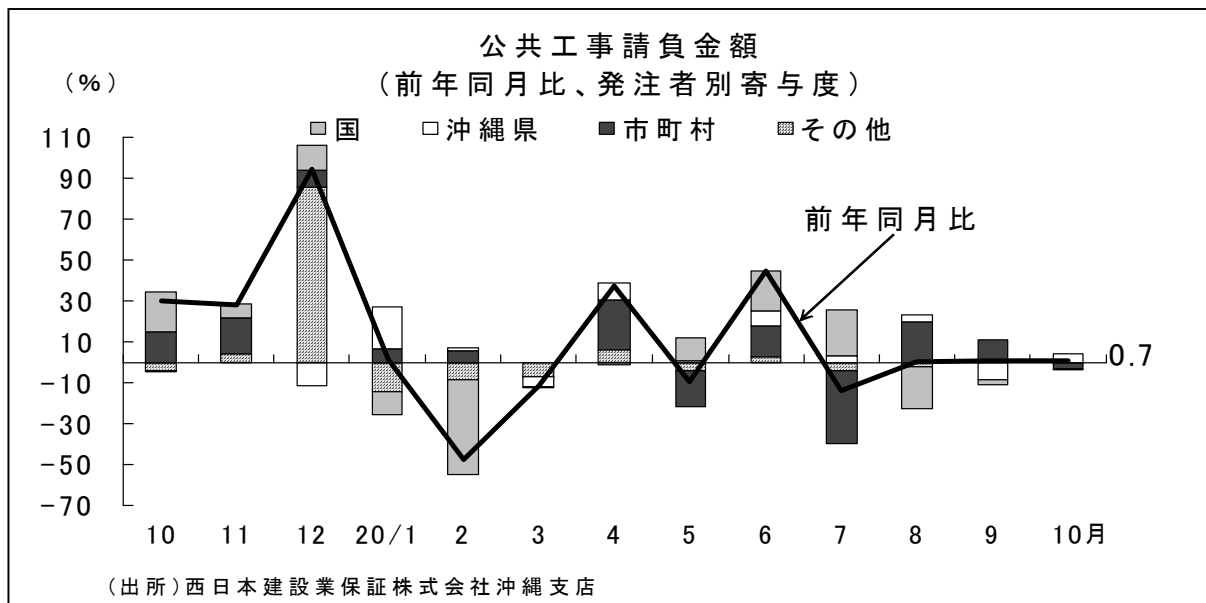
◇ 気象:平均気温・降水量 (那覇)



- ・平均気温は25.8℃となり、前年同月(26.0℃)より低く、平年(25.2℃)より高かった。降水量は203.0mmで前年同月(104.5mm)より少なかった。
- ・高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、台風14号や前線、気圧の谷などの影響で曇りや雨の日もあった。また、寒気などの影響で大雨や荒れた天気となった所があった。平均気温は平年並みで、降水量と日照時間は平年より多かった。

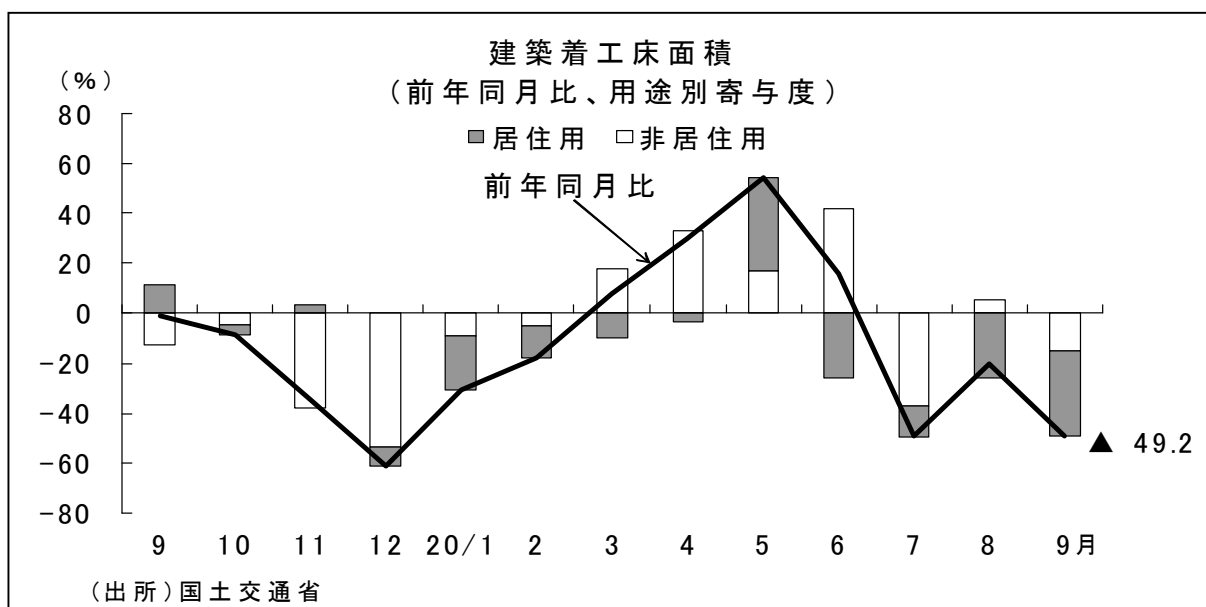
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：3カ月連続で増加



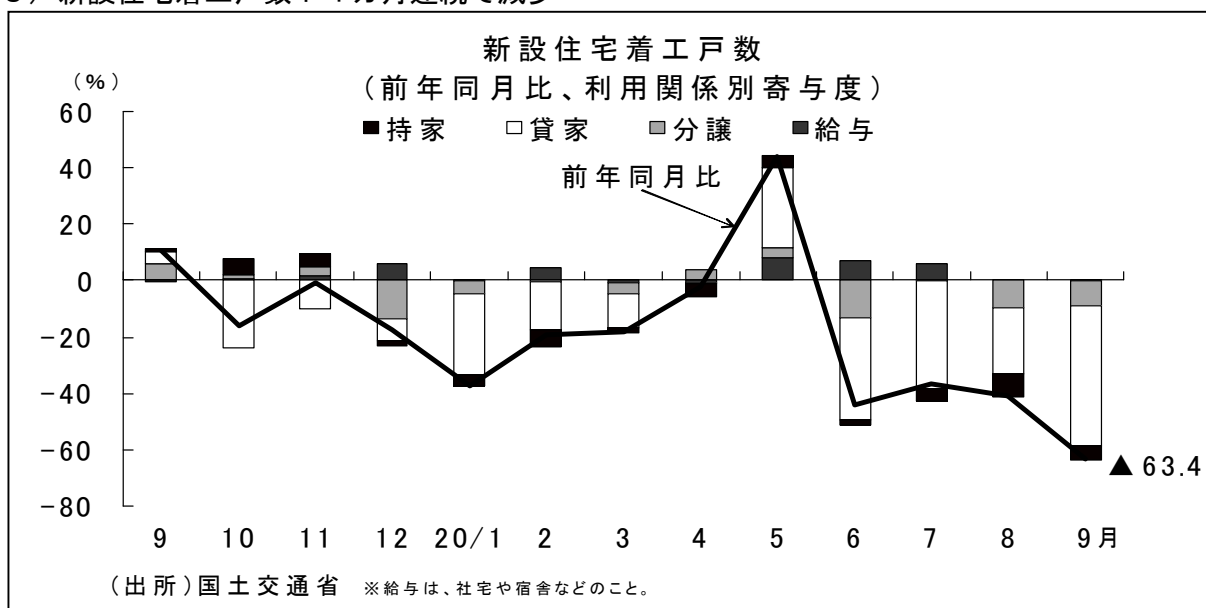
- 公共工事請負金額は、268億8,622万円で、国、市町村、独立行政法人等・その他は減少したが、県は増加したことから前年同月比0.7%増となり、3カ月連続で前年を上回った。
- 発注者別では、県(同17.1%増)は増加し、国(同3.7%減)、市町村(同5.5%減)、独立行政法人等・その他(同5.2%減)は減少した。

(2) 建築着工床面積：3カ月連続で減少



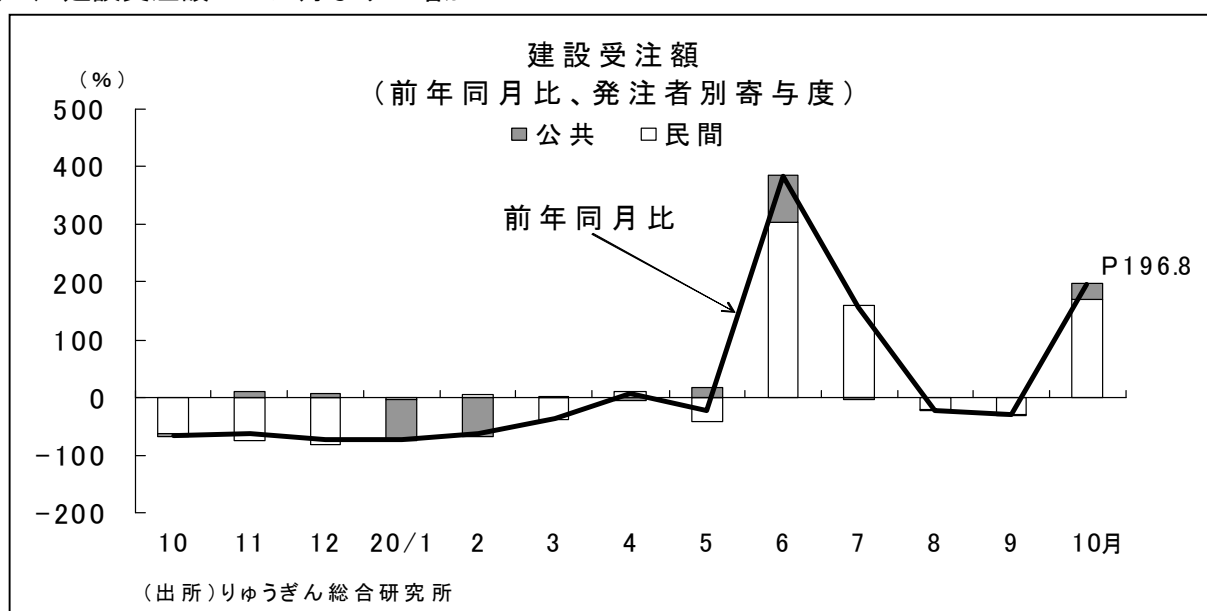
- 建築着工床面積(9月)は9万9,127㎡となり、居住用、非居住用ともに減少したことから前年同月比49.2%減と3カ月連続で前年を下回った。用途別では、居住用は同56.1%減となり、非居住用は同38.3%減となった。
- 建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では、居住専用、居住産業併用ともに減少した。非居住用では、鉱業・建設業用が増加し、教育・学習支援業用や医療・福祉用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：4カ月連続で減少



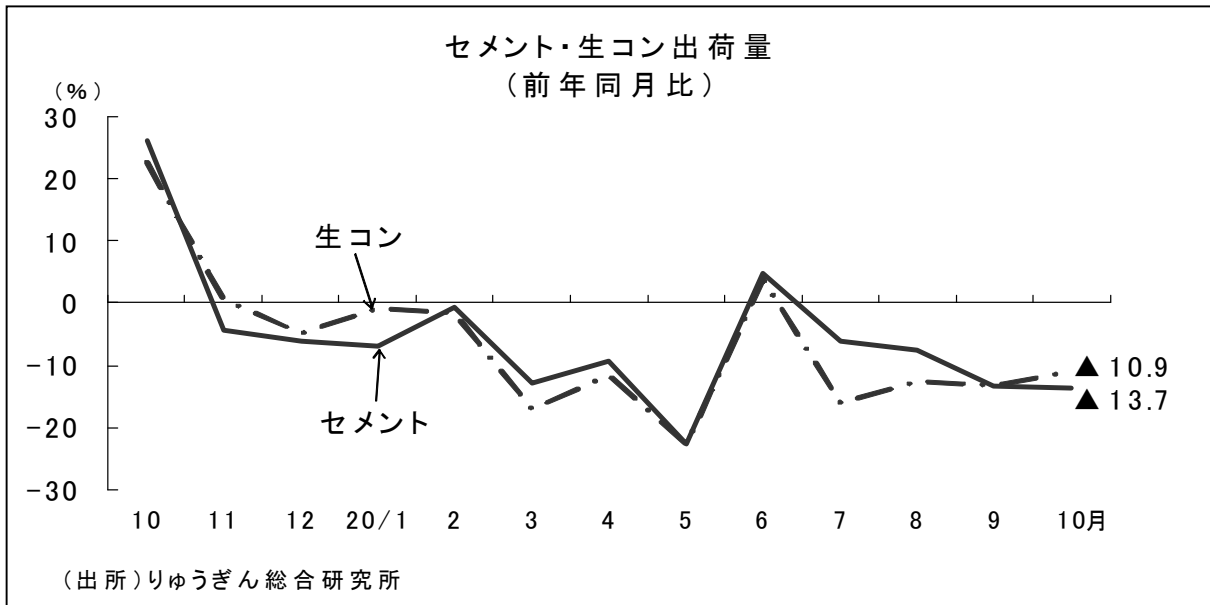
- ・新設住宅着工戸数（9月）は600戸となり、持家、貸家、分譲、給与の全ての項目で減少したことから前年同月比63.4%減と4カ月連続で前年を下回った。
- ・利用関係別では、持家（185戸）が同29.4%減、貸家（304戸）が同72.9%減、分譲（111戸）が同56.5%減、給与（0戸）が全減と減少した。

(4) 建設受注額：3カ月ぶりに増加



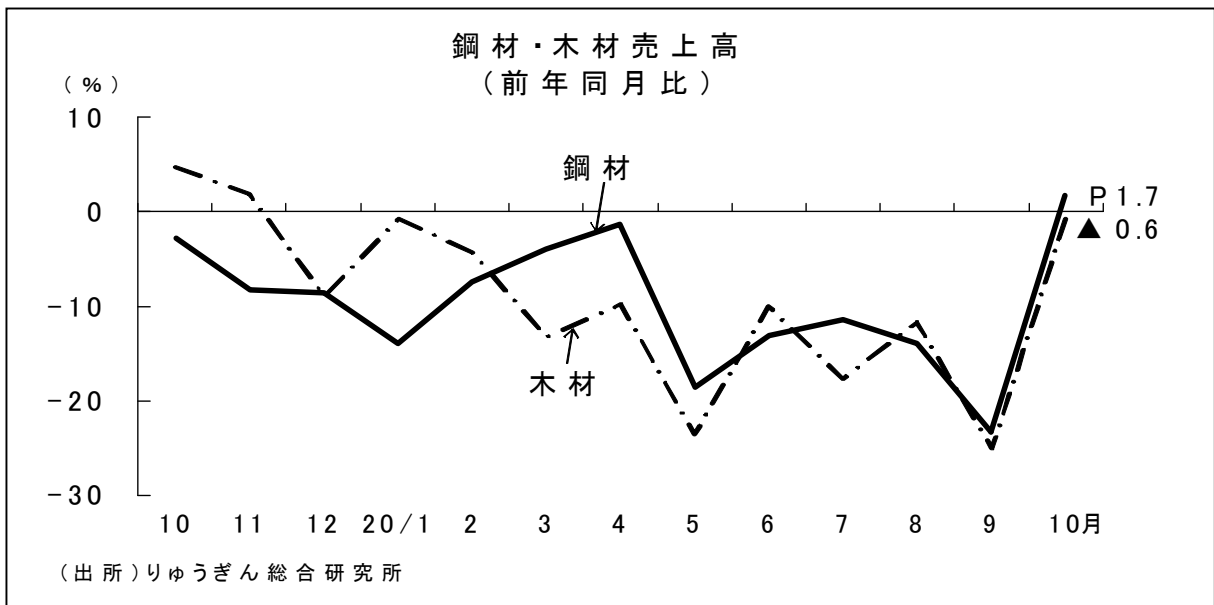
- ・建設受注額（調査先建設会社：18社、速報値）は、公共工事、民間工事ともに増加したことから、前年同月比196.8%増と3カ月ぶりに前年を上回った。
- ・発注者別では、公共工事（同44.9%増）は4カ月ぶりに増加し、民間工事（同432.4%増）は3カ月ぶりに増加した。

(5) セメント・生コン：セメントは4カ月連続で減少、生コンは4カ月連続で減少



- ・セメント出荷量は8万1,572トンとなり、前年同月比13.7%減と4カ月連続で前年を下回った。
- ・生コン出荷量は14万1,792m³で同10.9%減となり、4カ月連続で前年を下回った。
- ・生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、防衛省向けや海事工事向けなどが増加し、空港関連向けなどが減少した。民間工事では、電力関連向けなどが増加し、貸家向けや医療関連向けなどが減少した。

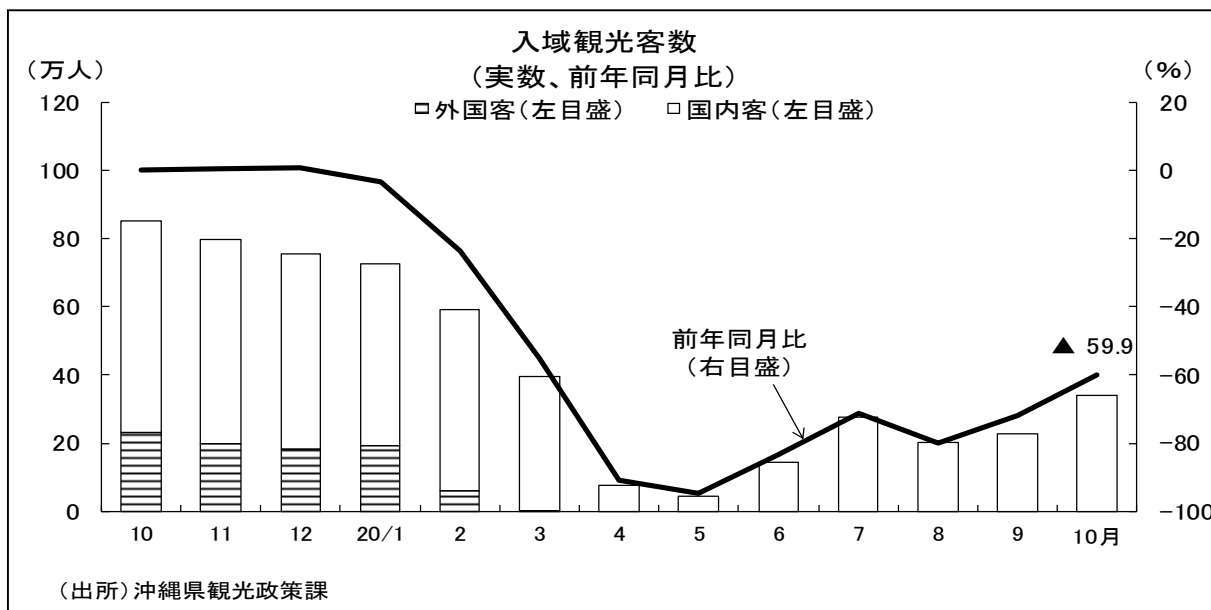
(6) 鋼材・木材：鋼材は13カ月ぶりに増加、木材は11カ月連続で減少



- ・鋼材売上高（速報値）は、前年の消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動がひと段落したことや単価の上昇がみられることなどから前年同月比1.7%増と13カ月ぶりに前年を上回った。
- ・木材売上高は、住宅関連工事向けの出荷が減少したことなどから同0.6%減と11カ月連続で前年を下回った。

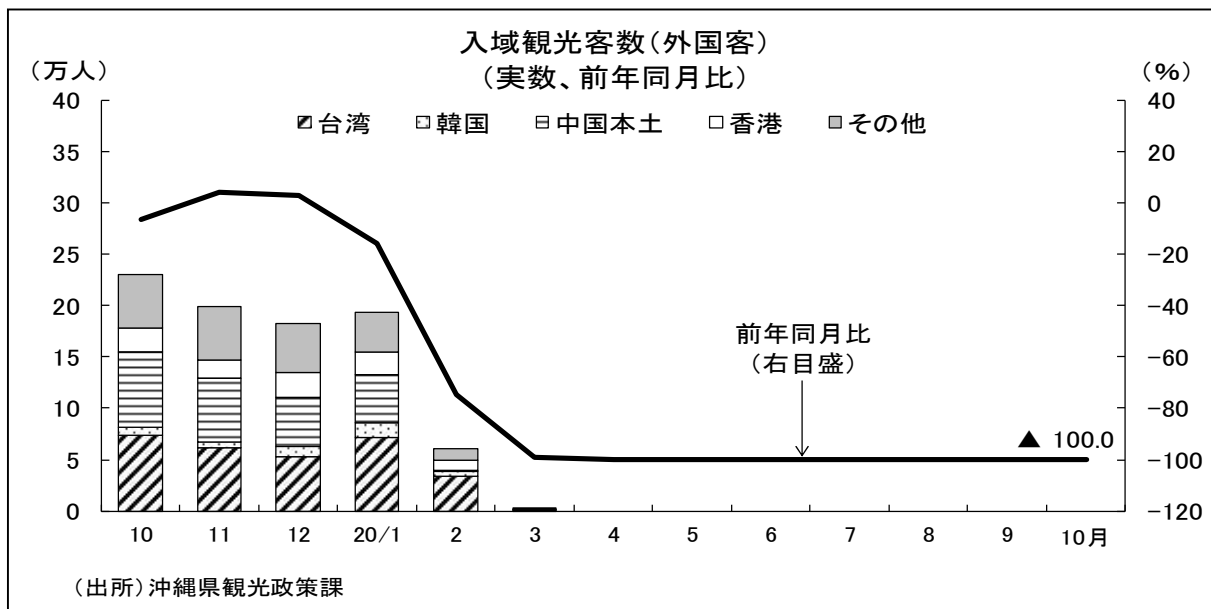
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：10カ月連続で前年を下回る



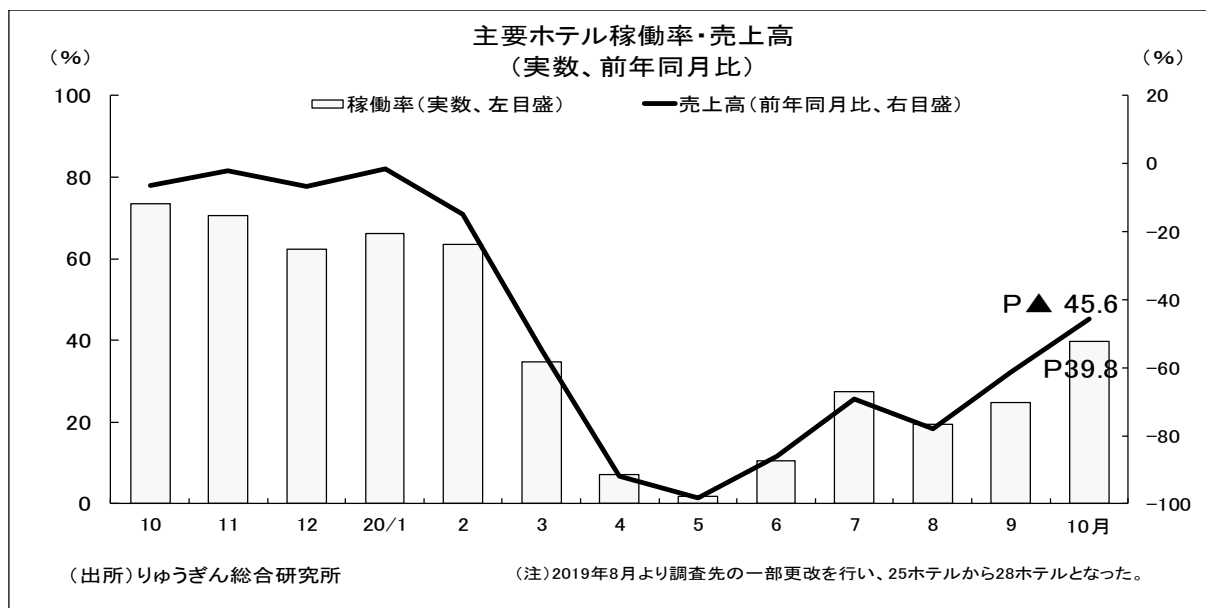
- ・入域観光客数は、34万1,200人（前年同月比59.9%減）となり、10カ月連続で前年を下回った。
- ・路線別では、空路は34万200人（同53.9%減）となり15カ月連続で前年を下回った。海路は1,000人（同99.1%減）となり10カ月連続で前年を下回った。
- ・国内客は、34万1,200人（同45.0%減）となり、9カ月連続で前年を下回った。
- ・10月はGoToトラベルに東京都発着が加わり、観光客数が増加したことから、減少幅は縮小した。

(2) 入域観光客数（外国客）：10カ月連続で前年を下回る



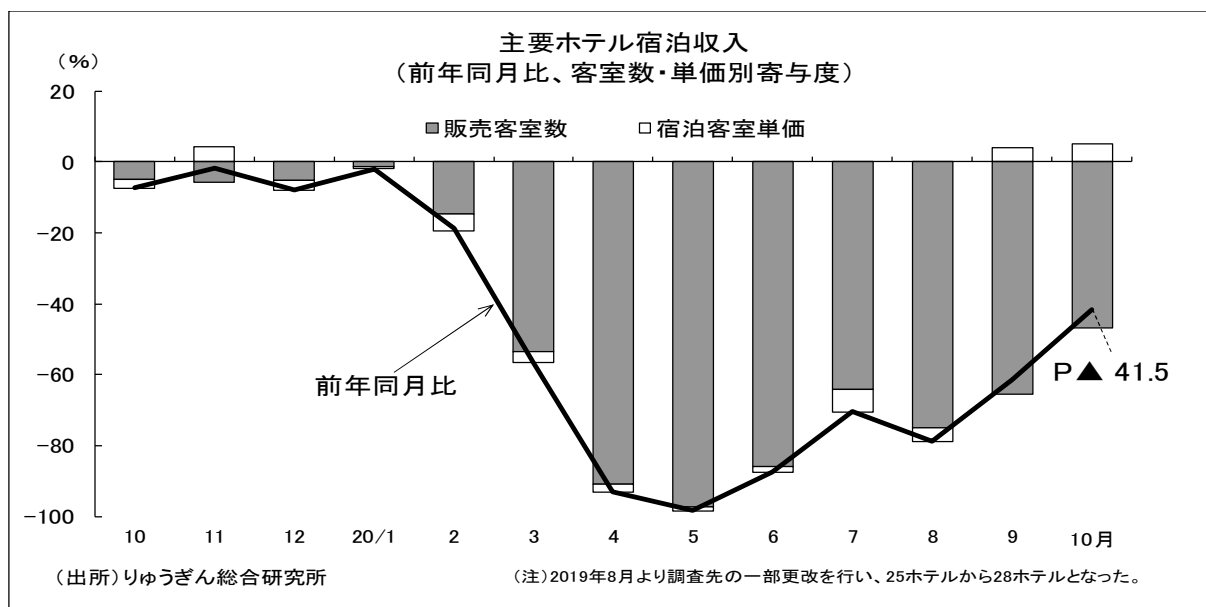
- ・入域観光客数（外国客）は、0人（前年同月比全減）となり、10カ月連続で前年を下回った。
- ・新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて、県内を発着する航空便およびクルーズ船がすべて欠航となったことから、4月以降7カ月連続で全減となった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は15カ月連続で低下、売上高は17カ月連続で減少



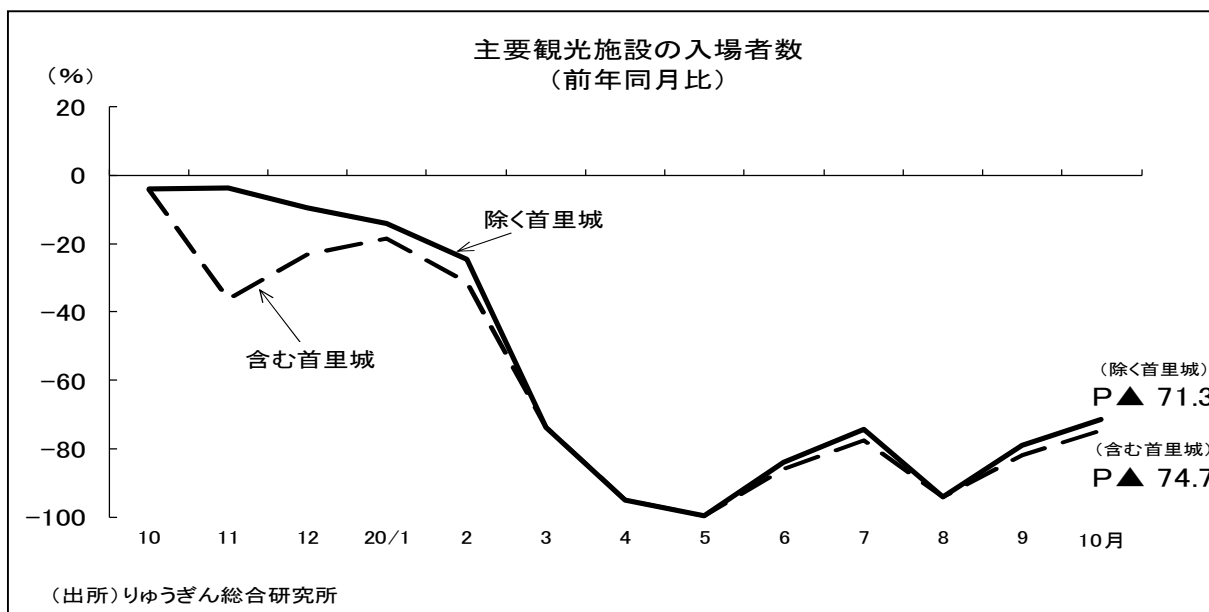
- ・主要ホテル（速報値）は、客室稼働率は39.8%となり、前年同月差33.6%ポイント低下して15カ月連続で前年を下回った。売上高は同45.6%減と17カ月連続で前年を下回った。
- ・那覇市内ホテル（速報値）は、客室稼働率は33.0%と同44.9%ポイント低下して15カ月連続で前年を下回り、売上高は同68.6%減と11カ月連続で前年を下回った。リゾート型ホテル（速報値）は、客室稼働率は42.4%と同29.1%ポイント低下して9カ月連続で前年を下回り、売上高は同39.2%減と17カ月連続で前年を下回った。
- ・10月はGoToトラベルに東京都発着が加わり、観光客数が増加したことから、売上高の減少幅は縮小した。

(4) 主要ホテル宿泊収入：16カ月連続で減少



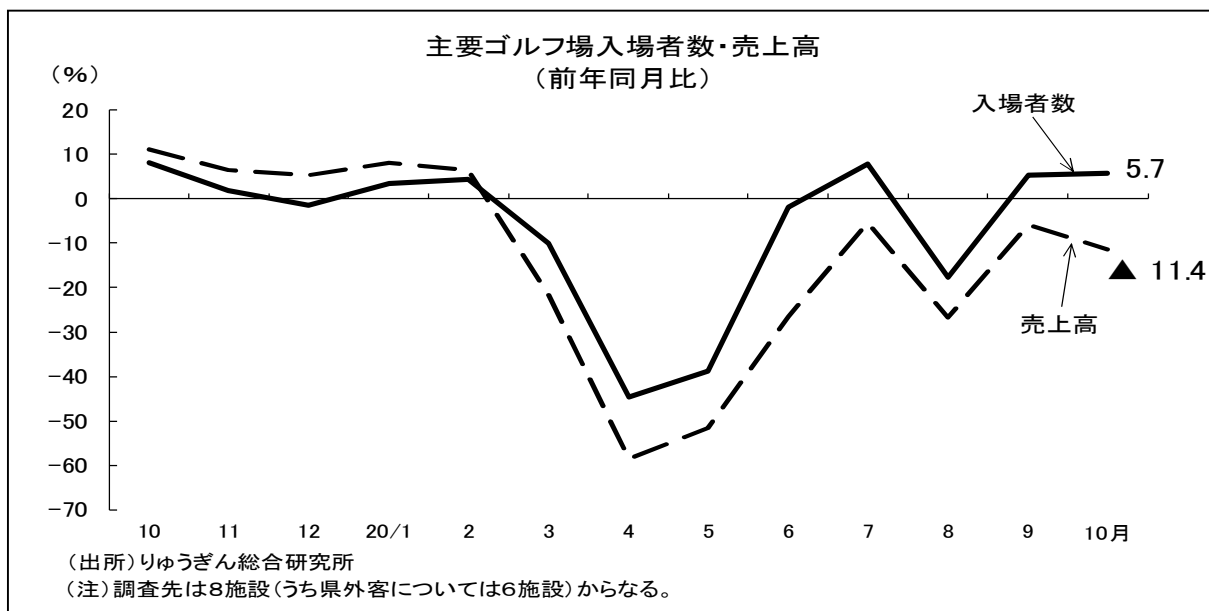
- ・主要ホテル売上高（速報値）のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）は減少、宿泊客室単価（価格要因）は上昇し、前年同月比41.5%減と16カ月連続で前年を下回った。
- ・那覇市内ホテル（速報値）は、販売客室数、宿泊客室単価ともに低下し、同66.9%減と11カ月連続で前年を下回った。リゾート型ホテル（速報値）は、販売客室数は減少、宿泊客室単価は上昇し、同35.1%減と9カ月連続で前年を下回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：15カ月連続で減少



- ・主要観光施設の入場者数（除く首里城、速報値）は、前年同月比71.3%減となり、15カ月連続で前年を下回った。
- ・首里城を含むベースは、同74.7%減となり、15カ月連続で前年を下回った。
- ・10月はGoToトラベルに東京都発着が加わり、観光客数が増加したことから、減少幅は縮小した。

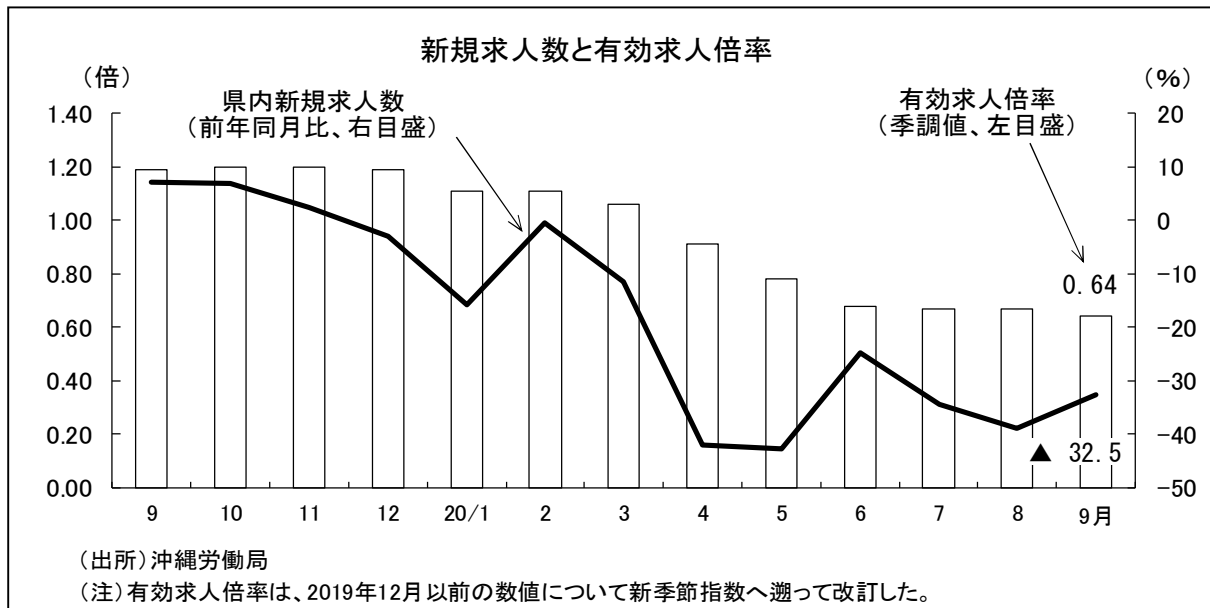
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数は増加、売上高は減少



- ・主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比5.7%増と2カ月連続で前年を上回った。県内客は2カ月連続で前年を上回り、県外客は14カ月連続で前年を下回った。
- ・売上高は同11.4%減と8カ月連続で前年を下回った。
- ・県内客の利用が増えた影響で入場者数は増加したものの、県外客の利用が減少し客単価が低下したことから売上高は減少が続いている。

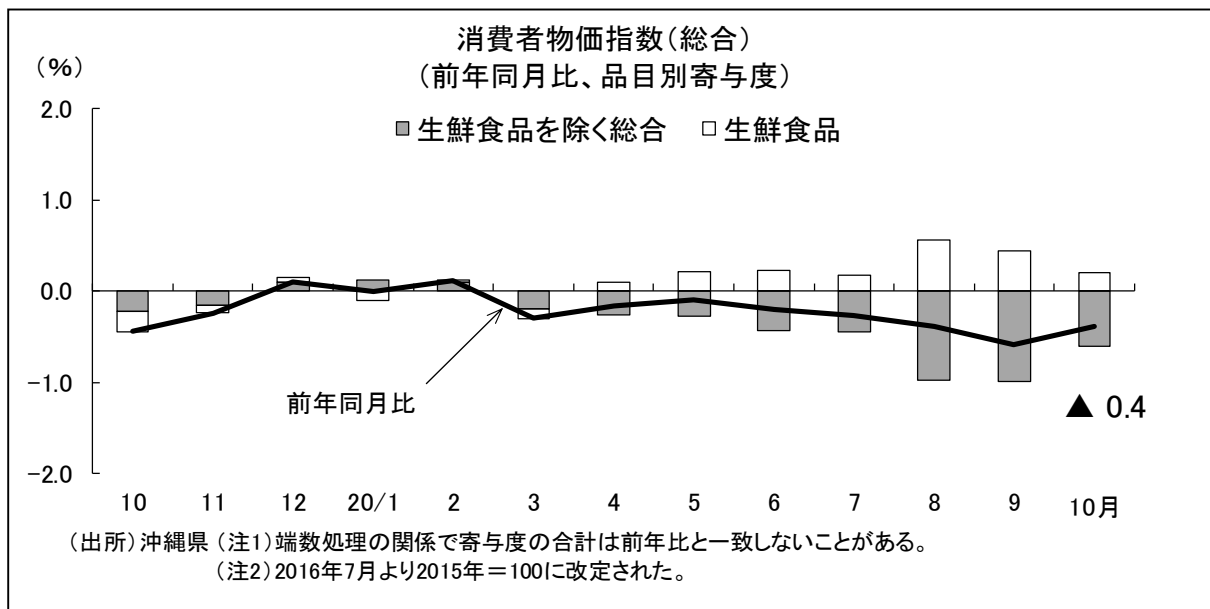
4. その他

(1) 雇用関連（再掲）：新規求人数は減少、有効求人倍率（季調値）は低下



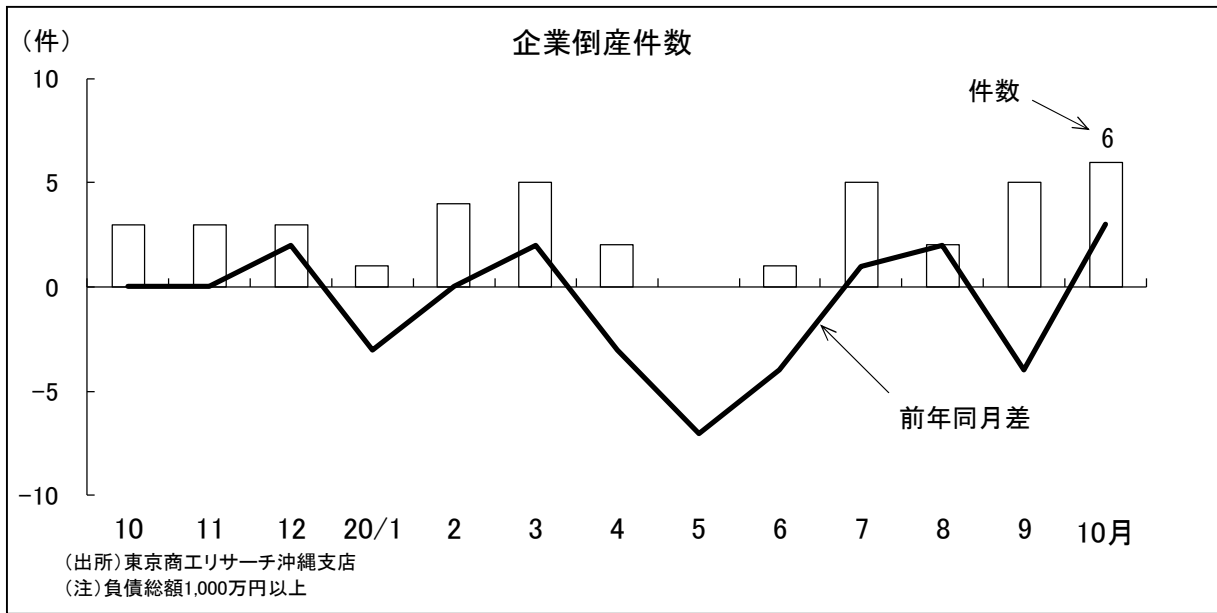
- ・新規求人数（9月）は、前年同月比 32.5%減となり 10 カ月連続で前年を下回った。産業別にみると、宿泊業・飲食サービス業や卸売業・小売業などで減少した。有効求人倍率（季調値、9月）は 0.64 倍と、前月より 0.03 ポイント低下した。
- ・労働力人口（9月）は、75 万 5,000 人で同 1.2%増となり、就業者数（9月）は、72 万 6,000 人で同 0.6%増となった。完全失業者数（9月）は 2 万 8,000 人で同 16.7%増となり、完全失業率（季調値、9月）は 3.5%と、前月と同水準だった。

(2) 消費者物価指数：8 カ月連続で下落



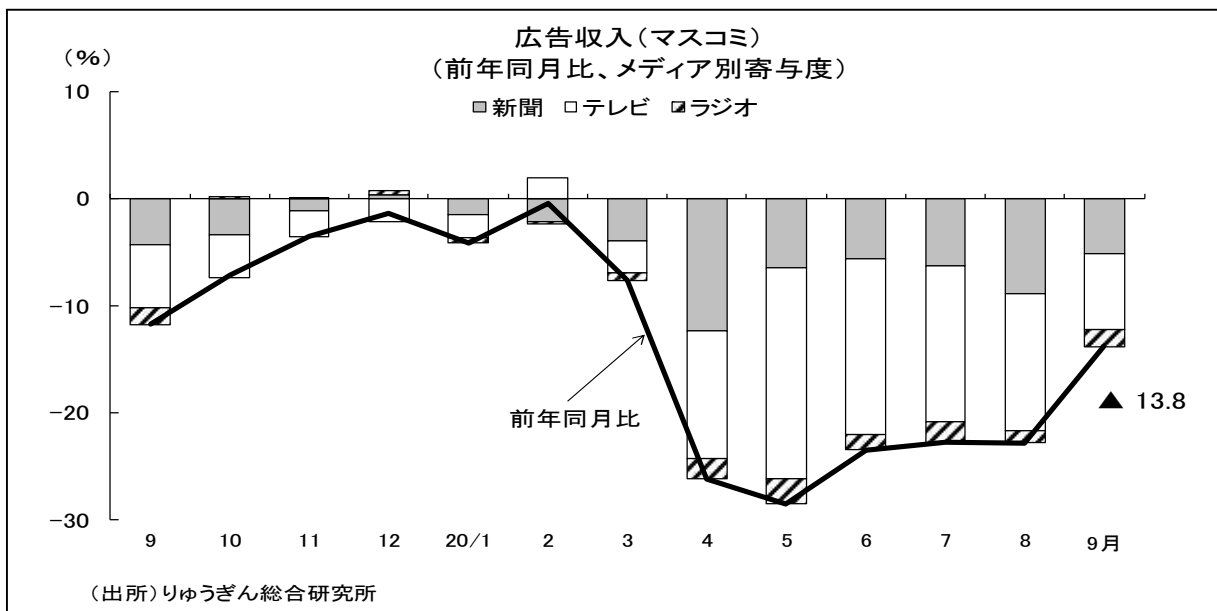
- ・消費者物価指数は、前年同月比 0.4%減と 8 カ月連続で前年を下回った。生鮮食品を除く総合は同 0.6%減と前年を下回った。
- ・品目別の動きをみると、光熱・水道、交通・通信などは下落し、住居などは上昇した。

(3) 企業倒産：件数、負債総額はともに増加



- 倒産件数は、6件で前年同月を3件上回った。業種別では、建設業1件（同1件減）、製造業1件（同1件増）、卸売業1件（同1件増）、金融保険業1件（同1件増）、サービス業2件（同1件増）となった。
- 負債総額は3億6,000万円となり、前年同月比318.6%増となった。

(4) 広告収入（マスコミ）：13カ月連続で減少



- 広告収入（マスコミ：9月）は、前年同月比13.8%減と13カ月連続で前年を下回った。
- 観光客の回復傾向を受けて経済活動に動きが出てきたことから減少幅は縮小したものの、新型コロナウイルス感染拡大でイベントなどの中止が相次いでいることから前年を下回る状況は続いている。

沖縄県内の主要経済指標……………17

〃 金融統計……………19

沖縄県内の主要経済指標(その1)

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	電気製品 卸売額	新車販売 台数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2017	2.7	1.4	2.1	▲ 1.5	2.1	2.8	351,069	5.1	2,249	7.0
2018	1.9	▲ 0.6	1.7	▲ 4.5	5.9	▲ 0.7	346,669	▲ 1.3	2,293	1.9
2019	▲ 4.8	▲ 0.1	1.4	11.3	▲ 0.7	3.6	326,534	▲ 5.8	1,849	▲ 19.4
2019 9	▲ 5.9	8.1	10.2	38.8	12.0	12.6	32,533	▲ 12.5	195	▲ 1.1
10	▲ 17.2	▲ 6.7	▲ 4.9	1.1	▲ 17.7	12.8	26,687	29.8	164	▲ 8.6
11	▲ 11.3	▲ 1.2	0.4	14.3	▲ 5.6	▲ 4.5	20,544	28.2	136	▲ 34.5
12	▲ 11.2	▲ 1.4	0.4	4.8	▲ 4.0	1.1	22,615	94.7	137	▲ 61.2
2020 1	▲ 9.3	▲ 0.7	1.5	1.9	▲ 7.3	0.9	15,144	1.3	85	▲ 30.7
2	▲ 21.3	3.1	4.9	17.7	▲ 0.5	▲ 3.7	14,601	▲ 47.5	113	▲ 17.7
3	▲ 35.2	▲ 1.4	0.9	▲ 4.1	▲ 15.5	3.9	35,684	▲ 11.7	175	8.0
4	▲ 75.1	1.6	3.2	▲ 0.9	▲ 39.3	▲ 5.9	23,377	37.2	176	30.0
5	▲ 66.2	2.5	5.2	▲ 18.9	▲ 54.0	▲ 24.3	19,042	▲ 9.5	136	54.2
6	▲ 31.7	2.1	5.1	9.5	▲ 32.7	12.2	29,970	44.5	161	16.1
7	▲ 27.9	1.7	2.6	0.8	▲ 18.7	7.1	44,577	▲ 14.1	126	▲ 49.3
8	▲ 42.7	▲ 0.3	2.0	▲ 12.4	▲ 14.9	3.7	30,333	0.3	147	▲ 20.4
9	▲ 44.0	▲ 7.5	▲ 5.6	▲ 15.0	▲ 11.4	▲ 4.3	32,749	0.7	99	▲ 49.2
10	▲ 23.0	1.5	3.6	▲ 2.7	23.1	2.7	26,886	0.7	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 百貨店売上高は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数	広告 収入
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2017	16,591	2.4	▲ 8.2	11.3	9.5	26.4	1.7	3.6	3.2	0.1
2018	16,803	1.3	10.6	▲ 1.8	▲ 4.2	2.7	10.6	▲ 2.6	▲ 1.2	▲ 2.4
2019	15,098	▲ 10.1	▲ 12.5	0.3	1.4	4.0	7.2	0.9	▲ 0.2	▲ 2.2
2019 9	1,640	10.7	▲ 50.1	8.7	1.7	19.3	34.4	▲ 7.8	▲ 0.8	▲ 11.7
10	1,245	▲ 16.2	▲ 66.7	26.1	22.6	▲ 2.8	4.7	▲ 4.1	8.1	▲ 7.2
11	1,130	▲ 0.8	▲ 63.0	▲ 4.3	0.7	▲ 8.3	1.8	▲ 3.6	1.7	▲ 3.5
12	1,244	▲ 17.5	▲ 74.3	▲ 6.1	▲ 4.8	▲ 8.6	▲ 8.9	▲ 9.6	▲ 1.3	▲ 1.4
2020 1	670	▲ 37.4	▲ 74.0	▲ 6.9	▲ 0.9	▲ 14.0	▲ 0.8	▲ 14.1	3.5	▲ 4.1
2	884	▲ 19.1	▲ 63.1	▲ 0.7	▲ 1.6	▲ 7.5	▲ 4.3	▲ 24.5	4.4	▲ 0.4
3	1,094	▲ 18.4	▲ 36.3	▲ 12.8	▲ 17.0	▲ 4.0	▲ 13.3	▲ 73.7	▲ 10.1	▲ 7.6
4	1,129	▲ 2.1	6.9	▲ 9.3	▲ 11.6	▲ 1.3	▲ 9.8	▲ 94.9	▲ 44.6	▲ 26.2
5	1,019	44.1	▲ 23.6	▲ 22.7	▲ 22.6	▲ 18.7	▲ 23.6	▲ 99.6	▲ 38.8	▲ 28.5
6	767	▲ 44.2	384.8	4.8	3.8	▲ 13.2	▲ 10.0	▲ 83.8	▲ 1.8	▲ 23.4
7	896	▲ 36.9	P156.0	▲ 6.1	▲ 16.0	▲ 11.4	▲ 17.7	P▲ 74.4	7.8	▲ 22.7
8	993	▲ 41.0	P▲ 22.4	▲ 7.6	▲ 12.5	▲ 14.0	▲ 11.7	P▲ 94.2	▲ 17.6	▲ 22.8
9	600	▲ 63.4	P▲ 29.7	▲ 13.3	▲ 13.2	P▲ 23.3	▲ 25.1	P▲ 78.6	5.4	▲ 13.8
10	-	-	P196.8	▲ 13.7	▲ 10.9	P1.7	▲ 0.6	P▲ 71.3	5.7	-
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 建設受注額は、2018年2月より調査先を19社から18社とした。

沖縄県内の主要経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率(実数)		ホテル売上高(前年比)		鉱工業生産指数(季調値)	
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	2015年=100	前年比
2017	9,396.2	9.1	2,542.2	22.1	83.3	74.3	0.7	1.1	92.4	5.5
2018	9,847.7	4.8	2,903.8	14.2	81.2	71.9	▲ 0.3	▲ 2.3	90.0	▲ 2.6
2019	10,163.9	3.2	2,930.0	0.9	81.4	69.7	▲ 1.0	▲ 3.0	87.1	▲ 3.2
2019 9	809.3	1.0	218.7	▲ 5.1	79.2	69.0	▲ 15.9	▲ 12.1	85.8	▲ 3.7
10	851.3	0.2	230.5	▲ 6.5	77.9	71.5	▲ 8.2	▲ 6.0	85.6	1.2
11	799.2	0.5	199.1	4.2	79.6	66.7	0.7	▲ 3.2	80.1	▲ 5.8
12	755.1	1.0	182.4	2.9	76.8	56.4	▲ 8.0	▲ 6.4	76.9	▲ 8.1
2020 1	727.8	▲ 3.4	193.5	▲ 15.8	78.0	61.3	▲ 4.5	▲ 0.4	83.9	▲ 5.7
2	590.9	▲ 23.5	61.0	▲ 74.6	71.2	62.6	▲ 17.6	▲ 13.6	92.0	4.1
3	396.3	▲ 55.2	2.4	▲ 98.9	35.9	34.3	▲ 57.6	▲ 53.5	75.7	▲ 13.3
4	77.3	▲ 90.9	0.0	▲ 100.0	8.2	6.6	▲ 89.4	▲ 92.4	70.7	▲ 18.4
5	44.0	▲ 94.7	0.0	▲ 100.0	3.4	1.3	▲ 96.9	▲ 98.6	67.9	▲ 26.8
6	144.1	▲ 83.4	0.0	▲ 100.0	8.3	11.3	▲ 88.7	▲ 85.5	73.3	▲ 15.0
7	277.3	▲ 71.2	0.0	▲ 100.0	24.0	29.1	▲ 75.9	▲ 68.1	79.7	▲ 15.3
8	202.8	▲ 80.1	0.0	▲ 100.0	P19.3	19.7	P▲ 81.2	▲ 77.4	76.1	▲ 13.3
9	227.6	▲ 71.9	0.0	▲ 100.0	P18.9	P27.3	P▲ 77.5	P▲ 57.2	-	-
10	341.2	▲ 59.9	0.0	▲ 100.0	P33.0	P42.4	P▲ 68.6	P▲ 39.2	-	-
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ				県企画部統計課	

注) ホテルは、2019年8月より調査先が25ホテルから28ホテルとなった。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。2019年4月より2015年=100に改定された。

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率(季調値)	就業者数	有効求人倍率(季調値)	新規求人数(県内)	通関輸出	通関輸入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	百万円	百万円
2017	51	6,223	20.6	0.5	3.8	1.8	1.11	6.6	32,347	194,709
2018	44	12,416	99.5	0.9	3.4	2.3	1.17	2.1	29,105	175,054
2019	50	5,714	▲ 54.0	0.4	2.7	2.7	1.19	2.8	30,908	148,516
2019 9	9	1,045	152.4	0.4	3.0	4.9	1.19	7.1	1,120	7,686
10	3	86	▲ 85.8	▲ 0.4	2.6	4.6	1.20	6.9	9,059	12,962
11	3	660	1,078.6	▲ 0.2	2.5	▲ 0.1	1.20	2.4	1,167	9,406
12	3	318	3,080.0	0.1	2.9	0.8	1.19	▲ 3.1	1,505	21,871
2020 1	1	30	▲ 94.6	0.0	3.4	1.5	1.11	▲ 15.8	927	13,567
2	4	530	▲ 25.1	0.1	3.2	1.5	1.11	▲ 0.6	3,199	8,379
3	5	897	715.5	▲ 0.3	2.9	0.1	1.06	▲ 11.4	1,499	13,356
4	2	30	▲ 96.4	▲ 0.2	3.5	▲ 0.1	0.91	▲ 42.0	12,207	11,381
5	0	0	▲ 100.0	▲ 0.1	3.2	0.1	0.78	▲ 42.8	866	7,143
6	1	490	200.6	▲ 0.2	3.3	▲ 0.1	0.68	▲ 24.6	1,085	11,530
7	5	862	353.7	▲ 0.3	3.3	▲ 1.0	0.67	▲ 34.5	1,636	12,050
8	2	182	100.0	▲ 0.4	3.5	0.4	0.67	▲ 38.9	2,196	12,342
9	5	84	▲ 92.0	▲ 0.6	3.5	0.6	0.64	▲ 32.5	1,212	8,390
10	6	360	318.6	▲ 0.4	-	-	-	-	2,917	7,088
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課		沖縄労働局		沖縄地区税関		

注) 消費者物価指数は、2016年7月より2015年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2019年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

沖縄県内の金融統計

年度	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡 発生率
	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2017FY	2,561	4,288	▲ 1,728	1.559	211	▲ 7.9	3,677	▲ 2.4	82	0.022
2018FY	2,511	4,092	▲ 1,582	1.506	201	▲ 4.7	3,599	▲ 2.1	24	0.007
2019FY	2,658	4,076	▲ 1,415	1.465	189	▲ 5.9	3,381	▲ 6.0	5	0.002
2019 9	176	353	▲ 176	1.475	17	18.7	297	14.5	0	0.000
10	233	374	▲ 141	1.472	16	▲ 16.2	265	▲ 18.3	0	0.000
11	148	308	▲ 159	1.471	14	▲ 15.5	210	▲ 24.2	0	0.000
12	540	134	405	1.465	16	7.0	288	14.3	0	0.000
2020 1	89	551	▲ 461	1.465	16	▲ 9.7	291	▲ 6.1	2	0.007
2	114	223	▲ 108	1.462	14	▲ 14.4	215	▲ 19.5	0	0.000
3	224	215	8	1.458	17	17.8	315	32.8	3	0.011
4	360	130	229	1.455	15	▲ 4.9	291	▲ 13.1	3	0.010
5	98	185	▲ 87	1.441	12	▲ 32.3	223	▲ 37.5	0	0.000
6	543	210	333	1.427	17	14.4	300	32.0	0	0.000
7	212	271	▲ 58	1.419	15	▲ 19.9	284	▲ 16.8	0	0.000
8	202	203	▲ 1	1.412	14	▲ 4.2	260	7.8	0	0.000
9	201	237	▲ 35	1.410	13	▲ 23.0	234	▲ 21.2	0	0.000
10	-	-	-	-	13	▲ 18.1	211	▲ 20.5	1	0.007
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額)÷手形交換高(金額)×100

年度	地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)		県内金融機関 の預金残高 (末残)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)	
	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2017FY	47,488	4.1	36,762	6.0	47,533	5.1	8,491	3.6	1,173	▲ 2.3
2018FY	48,679	2.5	38,613	5.0	49,141	3.4	8,587	1.1	1,202	2.5
2019FY	49,931	2.6	39,293	1.8	50,358	2.5	8,641	0.6	1,225	1.9
2019 9	49,956	2.9	38,532	3.5	50,331	3.2	8,395	0.6	1,169	▲ 1.2
10	49,718	3.7	38,488	3.6	50,132	4.0	8,375	0.7	1,175	▲ 0.5
11	50,239	3.9	38,556	3.3	50,634	4.2	8,363	0.4	1,173	▲ 1.6
12	50,092	3.9	38,758	3.3	50,492	4.2	8,462	0.1	1,181	▲ 1.4
2020 1	49,516	3.8	38,818	3.2	49,939	4.0	8,460	▲ 0.1	1,182	▲ 0.9
2	49,804	3.8	38,935	2.9	50,212	4.2	8,450	▲ 0.2	1,183	▲ 0.5
3	49,931	2.6	39,293	1.8	50,358	2.5	8,641	0.6	1,225	1.9
4	51,610	4.7	39,068	2.8	52,012	4.7	8,877	3.8	1,350	14.9
5	52,787	7.1	39,387	3.2	53,209	7.1	9,272	9.0	1,488	28.6
6	54,208	8.4	39,584	3.5	54,629	8.4	9,718	14.9	1,783	54.0
7	54,155	9.1	39,788	3.9	54,653	9.2	9,966	18.0	2,025	74.6
8	54,764	9.4	39,955	4.1	55,252	9.5	10,084	19.3	2,211	90.4
9	54,537	9.2	40,043	3.9	55,062	9.4	10,166	21.1	2,362	102.1
10	54,812	10.2	40,029	4.0	-	-	10,228	22.1	-	-
出所	沖縄県銀行協会				日本銀行本店		沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。